



拾 蔭

Yuin

北海道大学附属図書館報

目 次

巻頭言

Open Scholarship 2006を視察して

情報基盤センター教授 野坂 政司…………… 1

お知らせ

来館日誌（平成18年11月～平成19年2月）…………… 4

私費依頼（文献複写・図書借用料）の現金支払窓口が
4月2日（月）より「北大生協」に変わります!! …… 5

大学院農学研究院図書室の改修について…………… 6

国際会議（海外出張報告）

ACCESS 2006とミシガン州内大学訪問記

大学院工学研究科・工学部図書整理係長 金子 敏

大学院薬学研究院・薬学部図書係 磯本 善男… 8

HUSCAP 海を渡る～英国国際会議発表

附属図書館情報システム課システム管理係長 杉田 茂樹

附属図書館情報管理課図書受入係 鈴木 雅子… 11

附属図書館北方資料室紹介（シリーズ3）…………… 14

教員著作寄贈図書・学術成果コレクション（HUSCAP）

寄贈文献（平成18年10月21日～平成19年2月26日）… 16

会議（平成18年11月18日～平成19年3月22日）…………… 17

人事往来…………… 19

図書館日誌（平成18年11月～平成19年2月）…………… 19

Open Scholarship 2006を視察して

情報基盤センター 教授 野坂 政司

2006年10月18日から20日にかけてスコットランドのグラスゴー大学で開催された「Open Scholarship 2006: New Challenges for Open Access Repositories」を視察する機会に恵まれた。これは、電子文献情報のオープン利用に供するデータベースの欧米の現状を把握するのにふさわしい国際研究集会であり、私の所属する情報基盤センター・デジタルコンテンツ研究部門の研究課題にも重なる側面がある非常に興味深い内容の研究集会であった。ヨーロッパを中

心とするオープン・アクセス・リポジトリの現状を認識するだけでなく、ポスターセッションに参加した北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP: Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers）の状況が国際的な水準において注目すべき成長を示している事実を再認識するきっかけにもなった。

プログラムの内容の概略を紹介すると、18日は予備的なプログラムで、実務担当者のワークショップとリポジトリのシステム基盤構築に

関する発表が行われ、19日は開会の挨拶、基調講演、その後、リポジトリ開発概観、付加価値サービス、品質保証、方針と実施というテーマのセッションがあり、20日のセッションでは、サステナビリティ、法的諸問題、学術活動、研究論文を越えて、というテーマの下に発表が繰り広げられた。

発表を聞いて印象づけられたのは、まずリポジトリに取り込むコンテンツの増大をどのように実現するかという、各機関での苦労と工夫が良く理解できる問題であり、そのための方策に関して、トップダウンの指示により研究者からコンテンツを強制的に提供させるか、あるいは提供を推奨するという柔らかな方針で進めるかということが議論の焦点となっていた。他には、コンテンツの品質保証とバージョンの問題、個々の機関を越えたオープン利用に向けた努力、個々の機関のリポジトリの特性をどう発揮するかという課題などについての発表が印象に残った。

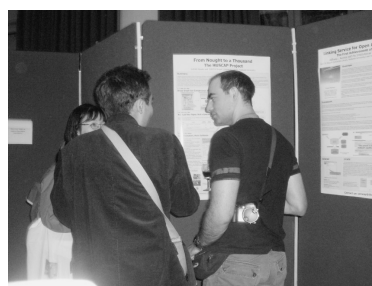
このような発表を通して、個々の機関を越えた組織的連携の国際的な試みが多彩に展開しており、その背後に連携推進に熱心に取り組む研究者・担当者が明確に存在していること、およびそのためのシステム基盤構築に関する技術的解決や、国による著作権の法制度の違いを克服して国際的なオープンアクセスを可能にする努力と実践が積み重ねられていることを強く実感することができた。これはつまり、紙媒体の書物の宝庫としての図書館に収蔵されている文献情報へのアクセスとはまったく異なる回路のものとして、電子文献情報へのオープンアクセスの環境構築とコンテンツ増大の企図への努力がグローバルに推進されているということである。このような取り組みは、これも北大で取り組んでいるインターネット上で講義情報（シラバス、講義資料等）を無償で公開するオープンコースウェア（OCW）の状況と密接に重なり合うものであり、ウェブ2.0の時代における教育研究

の環境構築が広い枠組の中で推進されていることを明示するものである。

このことを利用者の立場から詳述することは紙幅の関係でできないのだが、電子文献情報・講義情報のオープンアクセスに関して急速に変化し続けるこのような状況を研究者や学生が理解して、その環境構築の成果を有効に活用できるという利用者の視点からの環境改善が当然必要である。

コンテンツ・環境の提供と利用者の活用の両面を念頭において、この研究集会におけるHUSCAPについてのポスターセッションに触れておきたい。北大からは附属図書館情報システム課の杉田茂樹氏、情報管理課の鈴木雅子氏のお二人が発表し、HUSCAPのコンテンツを短期間に増大することができたこと、そして他機関との連携の技術的解決とを紹介したのだが、この2点について成果を上げつつ実施しているのは、日本で一歩先を進んでいるだけでなく、ヨーロッパの各国の現状においても注目すべき実績となるのである。これは担当者の努力の成果である。

HUSCAPのポスターセッションへの反応の様子を写真（撮影：野坂政司）で紹介しておきたい。



ポスターセッションでの杉田氏、鈴木氏



ポスターセッションでの杉田氏、鈴木氏

HUSCAPの今後の課題としては、収録編数が10,000編を越えたとはいえ、コンテンツの増大は持続的に展開しなければならないものであり、コンテンツを提供する研究者への多面的な啓蒙的活動の必要性をあげておきたい。その啓蒙のためには、グローバルな視野におけるHUSCAPの位置とスタンスを学内に明示していくことが必要であり、案内のためのパンフ

レットの発行だけでなく、デモ・説明会などをさまざまな規模で開催することも欠かせないであろう。また、利用者の立場からは、求めるコンテンツを容易に入手することができるファインダビリティーの向上が欠かせない。そのためには、システムの持続的な更新が必要となるので、予算措置の安定した基盤を確立することも急務である。

お知らせ

来 館 日 誌

(平成18年11月～平成19年 2 月)

No.	来 館 者	来 館 日	時 間	人数	備 考
1	北海道釧路湖陵高等学校 図書館生徒および引率教諭	2 月 2 日 (金)	9:30-11:30	6	カウンター業務 体験



カウンター業務を体験する釧路湖陵高校図書館生徒

私費依頼（文献複写・図書借用料）の現金支払窓口が 4月2日（月）より「北大生協」に変わります!!

4月2日（月）より「事務の合理化」のため、各部局の窓口で行っていた私費依頼の文献複写・図書借用料の現金収納業務が廃止され、北大生協が収納業務を行うこととなりました。

●4月以降の私費依頼した文献複写・図書借用料の現金支払の流れ

1. 各部局図書館（室）より文献複写・貸借図書の到着のお知らせが届く。
↓
2. 各部局図書館（室）より文献複写・貸借図書と同時に「請求書」が渡される。
↓
3. 「請求書」を持参し、北大生協に現金を支払う。
※店舗によっては、土・日・祝の支払が可能です。
↓
4. 北大生協より領収印が押された「請求書」が渡され、支払が完了する。

●収納業務を委託された北大生協店舗一覧

生協会館店	北部店	中央食堂	工学部店	農学部店
医学部店	保健学科店	薬学部店	獣医学部店	学生寮店
ポストゲノム店	水産学部店	エルムの森ショップ	博物館ショップ	

なお、この件に関するお問い合わせは、所属する各部局図書館（室）にお尋ねください。

大学院農学研究院図書室の改修について

大学院農学研究院図書室は改修工事にともない、平成18年11月6日にリニューアルオープンしました。改修前の図書室に比べて、室内も明るくなり書架数も増え、閲覧席はゆったりとしたスペースになりました。

◎各フロアの資料説明

2階フロアは、

- ・開架図書コーナー

主として農学および関連分野の学習図書、専門図書等の一般図書と辞典、ハンドブック等の参考図書がそれぞれ分類別に配架されています。

- ・新刊雑誌コーナー

和洋新着の学術雑誌が配架されています。

- ・新聞閲覧コーナー

道新、朝日、日本農業新聞等が閲覧できます。

- ・論文資料室（N265室）

旧制学位論文、博士論文、修士論文を保管しています。利用の際はカウンター職員にお申し出ください。

その他、OPAC（蔵書検索）とデータベース検索用パソコンが4台配置されています。



2階閲覧室

1 階フロアは、

・第1書庫（N157室）

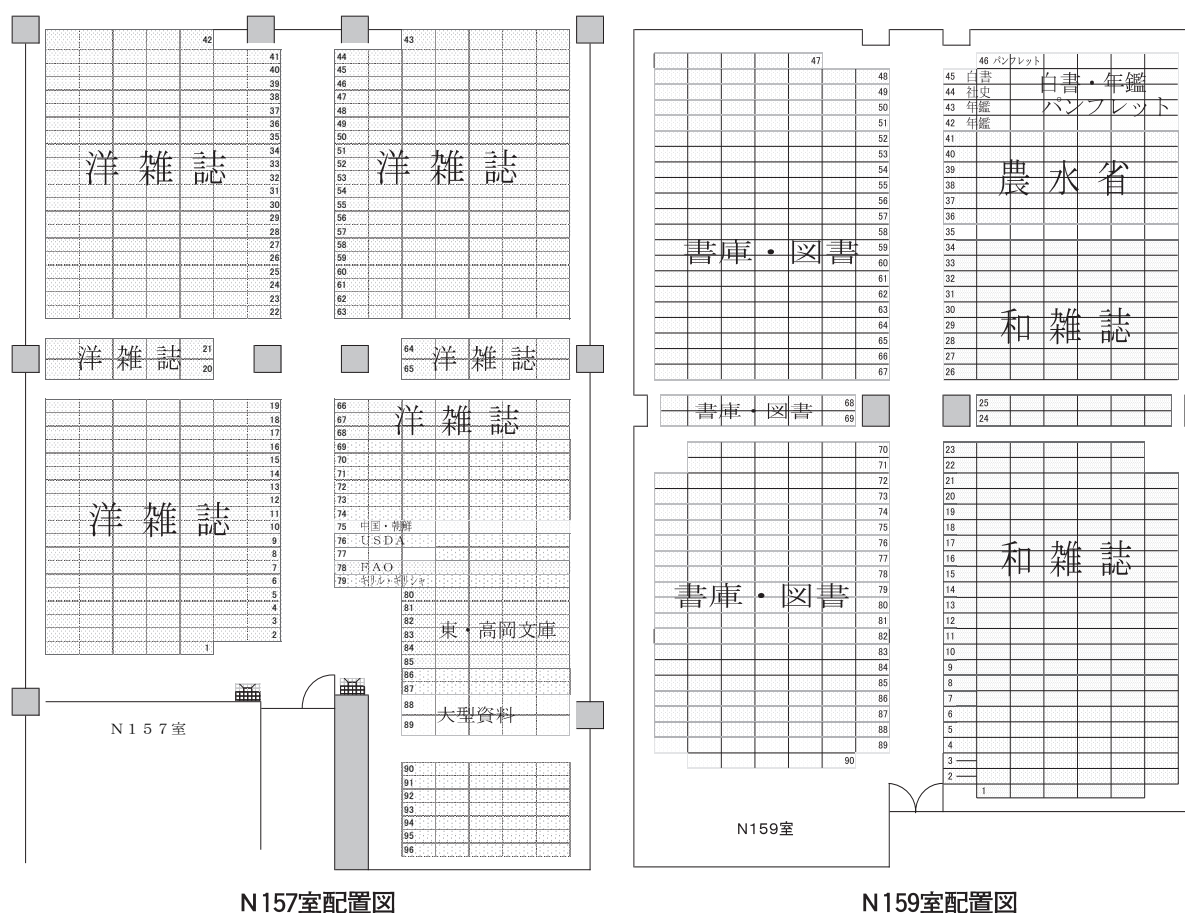
農学関連外国雑誌がタイトルのアルファベット順に配架されています。

FAO（国際食糧農業協会）、USDA（United States of Department of Agriculture）、東文庫、高岡文庫等も備え付けてあります。

・第2書庫（N159室）

農学関連和雑誌がタイトルのアルファベット順に配架されています。

2階開架図書コーナー以外の学習図書、専門図書、年鑑、白書、社史、沿革資料等も備え付けてあります。



図書室の開室時間は、月曜日から金曜日 9 時～20 時（但し、学生休業期間中は 9 時～17 時）です。
お近くに来られましたら是非お立ち寄りください。

問い合わせ先は、TEL：011-706-4122、e-mail：agr@lib.hokudai.ac.jp です。